

ドッグ豆知識

ドッグの病気や健康、性質などに関する豆知識をご紹介します。

ペットのための防災対策

災害が起こった時に最初に行うことは、飼い主自身や家族の安全確保ですが、家族同然のペットの安全対策や避難なども普段から考えておく必要があります。



今やるべきこと 普段からできる備えとは？

●対策・確認

- ペット用の避難用具や備蓄品の確保、準備
→水、フード、薬、予備の首輪、リード(伸びないもの)など、ペットの必需品は必ず用意する
- 住まいの防災対策
→ペットの隠れ場所の確保、ケージ付近の整理整頓
命にかかわるものは持ち出しやすい場所に置いておく
- 避難所や避難ルートの確認
→近くの避難所がペットの受け入れを行っているか
事前に確認しておく

●健康面のチェック・予防

- 狂犬病の予防注射・定期的なワクチン接種
- 寄生虫の予防(フィラリア・ノミ・ダニなど)
- 避妊去勢
感染症予防の観点から、ワクチン接種が証明できないとペットが入れない避難所もあります。

●日常のしつけ

- 人や動物、物・音に慣らす
- ケージやキャリーバッグに慣らす
- 決められた場所での排泄に慣らす

●所有者明示

- マイクロチップ
- 狂犬病ワクチン接種済票・鑑札
- 首輪、迷子札



避難生活は避難者はもちろんのこと、ペットにとっても大きなストレスになります。

いざというときに慌てないように、普段から基本的なしつけや健康管理をし、様々な環境に慣らしておきましょう。

有限会社かりゆし ドッグセラピー事業部

〒701-1333 岡山県岡山市北区立田 587 番地
TEL. 086-905-0111(直通)
FAX. 086-287-8261
E-mail. dog_therapy_i@ikenaga-group.jp
HP. <http://www.therapydog.jp>

📷 Instagram はじめました！
Dog_therapy_ikenaga



燦々 sansan

有限会社かりゆし
ドッグセラピー事業部 会報誌

Vol. 41 / 冬号
2024年

Contents

- ドッグセラピー症例報告
- 集団セラピー
- ご報告
- ドッグ豆知識

【ドッグセラピー症例報告】



TROHA

S様(64歳・女性)

- 高松アクティブホーム
- 実施期間:2024年7月~継続中
- セラピードッグ:いろは



【問題点】

- 食事の時間以外はベッドに横になられていることが多い
- 気分の落ち込みがあり、リハビリへの意欲低下がみられる

【目標】

- セラピードッグとの関係を築き、意欲向上を図る
- セラピードッグとの触れ合いを通じて自発的な行動を促し活動量の増加を図る

【利用者様の様子】

脳梗塞による右半身の麻痺と失語症があり、リハビリの意欲低下。

当施設がドッグセラピーを行っていることを理由に入所され、リハビリや日々の意欲向上を目的にセラピーの導入を開始しました。

セラピー導入当初は、「いろはが来たから撫でる」といった様子でしたが、セラピーの回数を重ねていくうちに、いろはに何かしてあげたい、一緒に何かしたいといった意識が芽生え、自発行動の増加に繋がりました。自室で横になっても、いろはが来ると自ら起きあがろうとされたり、車椅子でのお散歩の際はちゃんといろはがついてきているか何度も確認をして、自分の傍から離れないように手首にリードを巻き付けたりといった行動が増え、いろはへの責任感をもたれるようになりました。

また、当初はいろはに対して頷く程度のコミュニケーションしか取ろうとされませんでした。次第に言葉での意思疎通を図ろうとされるようになり、「あのね」「一緒に行こう」などの発語がみられるようになりました。

いろはが帰る際も、「またね」と言ってくださり、次に会えるのを楽しみにしてくださっている様子でした。

ご家族の方からは、「以前よりも笑顔が増えた」「いろはと触れ合っている時の表情がとても良い」などの嬉しいお声をいただきました。



集団セラピー

【レクリエーション】

〈触れ合い〉利用者様がいつも過ごされているホールや居室で触れ合いを行います。

〈レクリエーション〉ドッグと楽しく体を動かしていただくことで、自然とリハビリに繋がります。

体重予想ゲーム

ドッグの体重を予想して、それに合ったものを積み上げるレクリエーションです。

チームで相談していただき、ぴったり予想できたチームもありました。



目的

- ・手指・上肢の運動
- ・コミュニケーション能力の向上

準備するもの

- ・体重記入シート
- ・重さ表
- ・ペットボトル大・小
- ・ペットボトルキャップ
- ・松ぼっくり
- ・どんぐり



方法

- ① 1テーブル1チームに分かれ、ドッグと触れ合いながら体重を予想する
- ② 予想した体重をシートに記入し、重さ表を見ながらそれに合ったものを積み上げる
(例：体重26.7kgであれば、ペットボトル大2個・小1個・キャップ1個・松ぼっくり1個・どんぐり2個を積み上げる。)
- ③ 答え合わせをして、ぴったり当てることのできたチームの勝ち

衣替えパネル返し

くるくる回るパネルにボールを当てて、夏服パネルから冬服パネルへと裏返します。季節の変わり目を感じてもらうのにぴったりのレクリエーションです。

目的

- ・空間認知訓練
- ・他の利用者様とのコミュニケーション、協調性の促し

準備するもの

- ・回転パネル
- ・ボール(新聞紙を丸めたもの)



方法

- ① 2チームに分かれ、1チームずつドッグが引っ張るパネルにボールを当ててひっくり返してもらう。
- ② より多くのパネルをひっくり返したチームの勝ち。



専門学校講演会

岡山市内の専門学校3校を訪問し、「アニマルセラピーとドッグセラピー事業部の活動について」をテーマに講演会を行いました。

学生さんの中には、アニマルセラピーについて初めて知る方も多くおられ、資料での説明や実際に導入した個別セラピーの症例動画などを真剣な表情で聞いてくださいました。

また、講演後には「セラピードッグの定年は?」「アニマルセラピストになるには?」など複数の質問をいただき、より理解を深めていただくことができました。

レクリエーション体験ではドッグと共に全身を動かす、少し難易度の高いゲームに挑戦。多少苦戦はしたものの、皆さん一丸となって取り組んでいただき、大いに盛り上がりました。



物送りリレー

前向きの列になって座り、紙コップを使って風船やボールなどを前から後ろへ体をそらすようにして送る。全ての物を送り終えた列は立ち上がって足を開く。全員の足の間をドッグがくぐり抜け、一番早くゴールできたチームの勝ち。

*学生さん向けに用意したレクリエーションは、利用者様が行うものよりも難しくしています。

例：物が送りにくくなるよう、身体をそらすといったルールを追加する
立つ、座る動作を多く組み込む など

おしらせ

ドッグと楽しくふれあいながらゲームやワークを楽しみませんか!

【おかやまオレンジカフェ「ほっとりんく」】

【癒しのカフェin ケアハウスあしもり】

開催日時 毎月第4水曜日 13時~15時

開催日時 毎月第3金曜日 14時~16時

※ドッグセラピーは13時20分頃から30分程度

※ドッグセラピーは14時40分頃から30分程度

場所 いきがいライフたかまつ

場所 ケアハウスあしもり

岡山市北区立田 586-1

岡山市北区下足守 46

Tel.086-287-8880

Tel.086-295-9800